



下南畑の水田でコシヒカリなどを栽培(渋谷貞男さん(右))



ビニールハウスでは4種類のいちごを栽培



真っ赤に成熟した「あまりん」

市長の事業者訪問

FACE to FACE 14

渋谷 貞男さん(水稲・いちご栽培農家)  
所在地/下南畑3517

このコーナーが始まって以来初めて農業者を訪問しました。下南畑でお米やいちごを栽培する渋谷貞男さんに特別栽培の取組みなどを伺いました。

安全で安心な農産物

渋谷さんが作る農産物は、米ぬかや魚粉など植物・動物由来の有機質肥料を発酵させて作るぼかし肥料を使う特別栽培で、化学肥料の使用量が一般的な使用量より大幅に減らして育てられています。

お米は、農薬および化学肥料の両方を一般的な使用量の半以下に減らし栽培したことの証である「埼玉県特別栽培農産物」の認証を受けています。

また、渋谷さんは市内で現在4軒あるいちご栽培農家の1軒で、とちおとめ、やよいひめ、紅ほっぺ、あまりんの4種類を栽培し、デパート、あぐれっしゅふじみ野や市役所正門入口脇にある地場産物ショップ「ゆい」に出荷しています。

ビニールハウスの保温を上手に行い暖房を使わず栽培することで、甘さを蓄えたいちごが出来上がります。いちご栽培は休む暇がなく、4種類それぞれ手がかかり大変ですが、食べ比べが楽しめるなどと喜んでもらえることがモチベーションになっています。

おいしいと喜ぶ顔が見たい

渋谷さんが取り組む特別栽培は、一般的な栽培に比べて手間がかかります。渋谷さんは「ぼかし肥料を使うことで土と植物の本来持つ力を引き出し、おいしいものが出来上がります。丹精込めて作った農産物が、皆さんにおいしいと笑顔で喜んでもらえるのがうれしいです」と農業の魅力を語ります。

私は、市内農業者が丹精込めて作った自慢の農産物を多くの方に知っていただき、地元で採れたての新鮮かつ安全、安心な農産物を味わっていただけるようしっかりと市内農産物のPRIに力を入れていきたいと考えています。

市公式ホームページ



SNS



【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で



【マイチロ】広報「富士見」をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴

人口と世帯数(6月1日現在)

人口…112,868人(前月比+44人)  
(男 55,400人 女 57,468人)  
世帯数…54,255世帯(前月比+64世帯)



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

広報「富士見」は、市内の公共施設や駅などにも置いてあります。声の広報「富士見」(音声DASVイナイター)版は市内図書館で貸し出しています(市ホームページで聴くこともできます)。

